



愚劣極右の安倍政権打倒！

戦争法案を許すな！

残念ながら衆院通過！
今が民衆の力を示すとき！

衆議院平和安全法制特別委員会が7月15日、自民公明と党が単独で安全保障関連法案の採決を強行して可決。衆院議院運営委員会の理事会は16日に本会議を開き、関連法案を採決することを林幹雄委員長(自民)の職権で決定。16日午後の衆院本会議で、自民・公明両党などの賛成多数で可決され、衆院を通過した。法案は参院に送られ、7月中にも審議に入る。民主党、共産党、社民党は討論後に退席。次世代の党は政府案に賛成し、生活の党と山本太郎となかまたちは本会議を欠席した。維新は自らが提出した対案の採決後に退席した。



7月15日と16日に国会前で安保法制反対デモ! 大学生グループSEALDs(シールズ)が呼び掛け

「安保法案採決阻止! の国会前行動」に戸田・木村も「看板カー」で参加!

今国会は9月27日まで会期が大幅延長されている。法案が衆院を通過したことで、9月中旬には、参院で議決されなくても衆院で与党が再議決できる「60日ルール」が適用できることになった。

「国民の理解が進んでいないのも事実」。安倍晋三首相自らがこう認めたのに、自民、公明両党は安全保障関連法案の採決を強行した。報道機関の世論調査で多くの国民が反対の考えを示し、憲法学者の多数が憲法違反だと指摘する中、安倍政権は異論や違憲という指摘に背を向けたまま、安保政策の大転換に突き進んでいる。

野党議員からの「反対、反対」のコールの中、政権はこれ以上の異論を封じるかのように採決を強行した。

また、6月25日の首相に近い自民党議員の勉強会では、議員が「マスコミを懲らしめるには広告料収入がなくなるのが一番」「沖縄のゆがんだ世論を正しい方向に持っていく」などと述べ、政府に批判的な報道や世論を威圧する発言も飛び出していた。

自民幹部の一人は法案の作成過程も問題視する。議員が幅広く法案の作成過程に関与することなく、「一部の幹部だけで法案が作られた。党内議論で意見しようとするれば、作成を主導した高村正彦副総裁に論破された」。異論に耳を傾けぬ党内の空気が醸成された。

首相に近い参院議員の一人は「消費税や年金と違い、国民生活にすぐに直接の影響がない。法案が成立すれば国民は忘れる」と言い切る。(各新聞記事より抜粋)

「60日ルール」があっても無駄ではない! ぜひ国会前へ!!

7/15の国会周辺行動に参加するべく、戸田も13日から豊中市議の木村まこと夫妻と東京へ向かった。衆院の特別委で安保法案が強行採決された7/15の夜9時半まで国会周辺にいて、その後帰路に就き、7/16朝9時半に事務所へ帰った。

7/14は、夜に日比谷公園で2万人集会。集会後に国会で「誓願デモ」。戸田は単身、国会周辺で「看板カー一走行宣伝」をし

てデモ隊を迎え、激励した。この誓願デモの最終隊列の国会到着は夜10:30頃だった! いかにもデモ隊の人数が多かったかの証左である。強行採決が予測された7/15は、お昼頃から国会周辺に人々が集まり、6時頃には「総勢6万人」にも増えた! (夕方以降は「首相官邸前」にも人が集まった) ものすごく広大な国会周辺の空間。車で全て回って見た戸田の感覚としては「総計6万人結集」という数字には違和感が無かった。申し訳ないが、今後のスケジュールを鑑みて「体力の限界」を感じ、2泊3日+帰りの車中1泊として帰阪した。



戸田宣伝カー「打倒安倍政権仕様」

国会前に集まった仲間たちからは戸田看板カーに掲げられた文言への同意感が強く感じられた。「国会周辺に集まって延々と抗議を続ける人々を激励し元気づける」という戸田の目的はちゃんと果たされたと思う。

衆院の特別委と本会議での強行採決は「予想通りの数の力での実行」だったが、「60日ルールがあるから今後参院での採決拒否に向けて運動しても無駄」という事では全然無いと思う。

今回の「国会周辺での万余の人々の結集抗議」を実際に見て、「安倍政権の終わりが始まった!」事を戸田は実感した。それはまた多くの人々が持った実感でもあると思う。とりあえず、国会前結集可能な人はぜひ国会前へ!

無理な人は地元で何らかの形で「安保法案採決反対!」の意思表示行動を! ※門真市では共産党勢力が中心になって「戦争アカン門真1000人委員会」が結成されて活発に活動している。(当初「100人委員会」として準備されたが参加者が増大して10倍化!)

NEWS & TOPIC

◆「白バス」口実にXバンドリーダー 反対運動に弾圧(不当捜査・不当逮捕)!

6月4日・5日、「道路運送法違反」を口実に十数ヵ所が家宅捜索(関生支部事務所含む)され、3名が逮捕されるという弾圧事件が発生。市民運動の分断を狙った弾圧を全力ではねかえそう!

◆旧会館(生コン会館)建て替え→新会館建設!

連帯ユニオン生コン支部HP→<http://www.kannama.com/>

◆関西生コン産業政策協議会 労組のパワーで福祉を促進!

連帯ユニオン生コン支部HP→<http://www.kannama.com/>

連帯ユニオン議員ネット
郵便ニュース 2015年夏号 (通算第37号)

連絡先: 連帯ユニオン近畿地方本部: 大阪市西区川口2-4-28
電話: 06-6583-5549 FAX: 06-6583-5534
代表: 門真市議・戸田ひさよし 事務所: 大阪府門真市新橋町12-18-207
電話: 06-6907-7727 FAX: 06-6907-7730
副代表: 大阪府箕面市議・中西ともこ 大阪府豊中市議・木村まこと
編集長: 戸田ひさよし